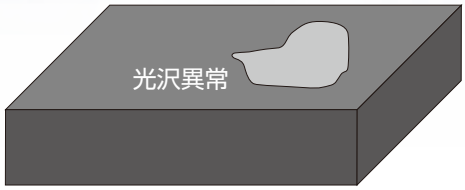
プラスチック製品の表面ブリード物分析

フィルムや成形品の表面にブリード物が発生することがある。
このブリード物を明らかにすることで、不具合対策を講じることができる。

【フィルムや成形品の不具合】
外観：白化、ブルーム、光沢異常、汚れ
物性：ヒートシール強度不足、ピール性不良
感触：ベタツキ、滑り異常



分析の流れ

前処理
表面拭取り

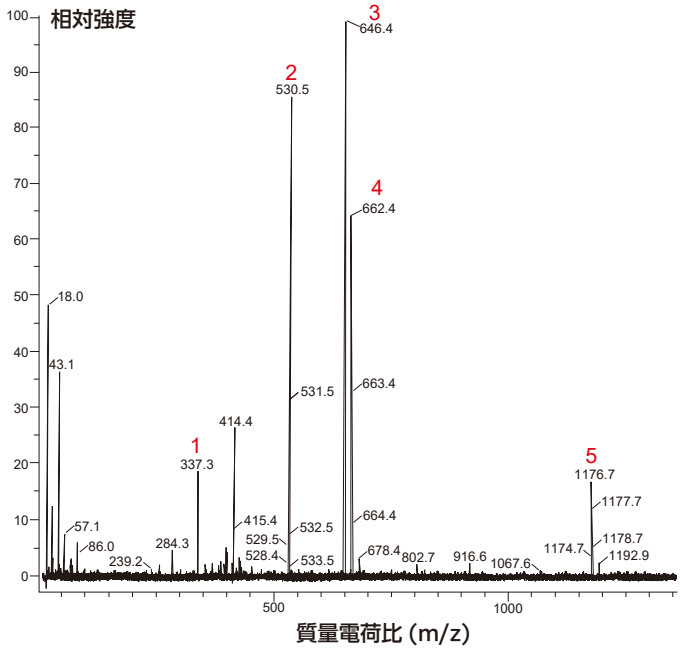
→

定性分析
ガスクロマトグラフ / 質量分析（GC/MS）
電解脱離 - 質量分析（FD-MS）
赤外分光分析（FT-IR）

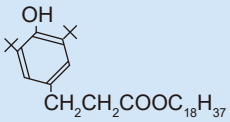
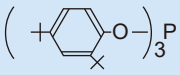
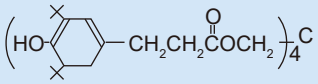
→

定量分析
ガスクロマトグラフィー（GC）
誘導体化・ガスクロマトグラフィー（GC）
液体クロマトグラフィー（LC）

分析例　フィルムブリード物のFD-MSによる定性分析



強く検出される分子イオン（分子量）よりブリード物を定性

1. エルカ酸アミド	スリップ剤
2.Irganox™1076 	酸化防止剤
3.Irgafos™168 	酸化防止剤
4.Irgafos™168 酸化物	酸化防止剤
5.Irganox™1010 	酸化防止剤

長年のポリマー分析経験を活かして、種々の分析方法をご提案